【エコアクション21】
2022年度環境経営レポート

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
認証番号0009661

2022年12月　バッチャープラント建て替え完了

対象期間 ： 2022年4月～2023年3月
作 成 日 ： 2023年7月13日
更 新 日 ： 2023年8月10日

関西ピー・エス・コンクリート株式会社
～当社は東四国唯一のプレストレストコンクリート製品の製造工場です～

目次

【頁】

1.　組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
2.　対象範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
3.　実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
4.　環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
5.　環境経営目標及びその実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
6.　環境経営計画の取組内容と評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
7.　環境関連法規等の順守状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
8.　代表者による全体評価と見直し・指示　・・・・・・・・・・・・・・・・　11
9.　環境活動の紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

ごあいさつ

昭和59年に設立された私どもの会社も、平素よりお世話になっている皆様方のお蔭をもちまして、誕生以来年毎に成長させていただいております。

近年におけるPC工事の発展は、めざましいものがあり、発注量の増大と共に、工種も多種多様にわたっております。

当社は設立当初より、東四国で唯一のプレストレストコンクリート橋げたの製造工場として、PC、RCの二次製品の設計、製造活動を続けてまいりました。

工場製作のみならず、昭和61年に橋梁上部工事を受注したのを手始めに、ポストテンション工法を含む現場工事にも広く実績を伸ばしております。

当社技術スタッフは、常にご発注者のご意向をあやまりなく反映させる事に努め、周囲の環境と景観に調和した美しい構造物を造るよう細心の注意を払っております。

当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

関西ピー・エス・コンクリート株式会社

代表取締役社長　坂本　守

1.　組織の概要

(1)　名称及び代表者名

関西ピー・エス・コンクリート株式会社
代表取締役社長　坂本　守

(2)　所在地

本社　　〒773-0007　徳島県小松島市金磯町8番79号

小松島工場　　同上

(3)　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　　工務部部長　髙橋　敬治
担当者　　工務部　　坂本　亘　　工事部　　杉本　泰之
連絡先　　TEL：0885-33-2448　　FAX：0885-33-1502
　　E-Mail：kps.pc00@gaea.ocn.ne.jp

(4)　事業内容

一般建設業　　土木工事業、とび・土工工事業
　　許可番号　徳島県知事許可（般-01）第70067号

コンクリート二次製品の製造（主要製品：道路橋用橋げた、その他のプレキャストコンクリート製品）

(5)　事業の規模　（2021年度）

売上高　　10,000（万円）
総生産量　　458（ﾄﾝ）

	本社（事務所）	工場	倉庫
従業員	15名		無人
延べ床面積	90㎡	1,448㎡	350㎡

(6)　事業年度

4月1日～翌年3月31日

2.　対象範囲

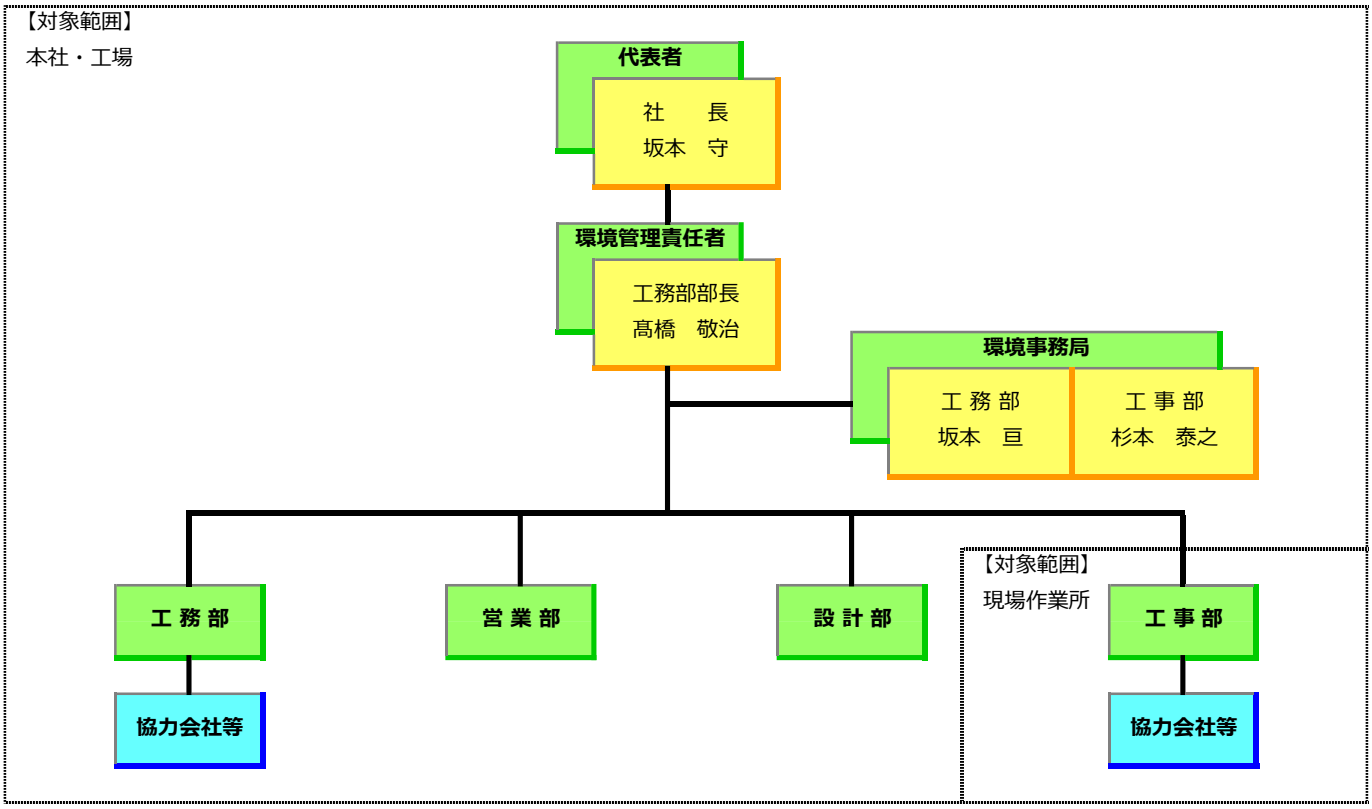
登録組織名：関西ピー・エス・コンクリート株式会社　本社・小松島工場

活　　動：一般建設業（土木工事業、とび・土工工事業）

　　コンクリート二次製品の製造（道路橋用橋桁、その他のプレキャストコンクリート製品）

3.　実施体制

3-1　実施体制図



3-2　役割・責任・権限表

担当者	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人材、設備、費用などの準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書の確認 ・環境関連法規・条例等のとりまとめ一覧表の承認 ・環境経営レポートの確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規・条例等のとりまとめ一覧表の作成 ・環境関連法規・条例等のとりまとめ一覧表に基づく順守確認の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所備付けと地域事務局への送付）
各部門長	・教育訓練の実施 ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・文書の作成 ・問題点の発見及び是正・予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境活動への取組みの重要性を認識 ・規則を順守し、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.　環境経営方針

【基本理念】

関西ピー・エス・コンクリート株式会社は、コンクリート製品の製造及び施工等の事業活動を行うに当り、高品質を追求し、社会から高く評価される完成品を提供するための企業努力に励み、社会に貢献することを目指しています。
また、当社の事業活動が地球環境に与える影響の重大さを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努めます。

【行動指針】

当社は、事業活動とその製品が地球環境に与える環境負荷を低減するため、以下の方針に基づいて環境に配慮した活動に取り組みます。

1. 循環型社会形成していくため、3R：Reduce（廃棄物の発生抑制）・Reuse（再使用）・Recycle（再資源化）に積極的に取り組み、以下の項目を重点テーマとして環境負荷の低減に努めます。

   1）二酸化炭素排出量（電力使用量、ガソリンなど石油系燃料使用量）の削減

   2）水資源使用量の削減

   3）廃棄物の削減及びリサイクルの推進

   4）化学物質の適正管理

   5）コピー用紙使用量の削減

   6）グリーン購入の推進

   7）工場及び工事現場周辺の清掃活動による社会貢献

   8）工事現場における環境配慮型建設機械の使用の推進

2. 5Sへの取組みを通して、作業空間の美化と改善に取り組み、社員が生き生きと働ける職場環境の整備に取り組みます。

3. エコアクション21の取り組みを通じて、環境経営の継続的改善を実施します。

4. 当社の事業活動が適用される環境関連法規等を順守します。

5. 一人ひとりが環境負荷低減活動を自主的・積極的に実践できるよう、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポートを社外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

上記の方針達成のため、環境経営目標を設定し、また定期的な見直しを行い、目標達成に向けて環境経営システムを推進します。

制定日：2020年3月31日
関西ピー・エス・コンクリート株式会社
代表取締役社長　　坂本　守

5.　環境経営目標及びその実績

5-1　環境負荷の実績一覧表

項目			単位	2019年度（基準年度）	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量			kg-CO_2	32,907.49	29,707.38	36,560.36	25,641.97
	購入電力		kWh	29,040.00	30,430.00	29,500.00	30,200.00
	建設現場等の購入電力		kWh	2,619.00	2,809.00	6,903.00	357.00
	化石燃料	灯油	ℓ	102.00	58.00	84.00	116.00
		建設現場等の灯油	ℓ	0.00	58.00	20.00	0.00
		A重油	ℓ	2,800.00	1,600.00	2,800.00	1,200.00
		都市ガス	Nm³	0.00	0.00	0.00	0.00
		液化天然ガス(LNG)	kg	0.00	0.00	0.00	0.00
		液化石油ガス(LPG)	kg	7.86	30.44	28.36	27.95
		建設現場等のLPG	kg	0.00	0.00	0.00	0.00
		ガソリン	ℓ	441.80	327.50	397.60	403.00
		建設現場等のガソリン	ℓ	1,655.70	1,632.10	1,935.00	963.40
		軽油	ℓ	1,038.00	831.00	1,258.00	904.00
		建設現場等の軽油	ℓ	303.00	291.00	290.80	147.60
	産廃	廃油	t	0.00	0.00	0.00	0.00
		廃プラスチック	t	4.57	0.74	0.67	0.87
水使用量			m³	341.97	292.26	337.08	338.22
	上水		m³	341.97	292.26	337.08	338.22
	工業用水		m³	0.00	0.00	0.00	0.00
	地下水		m³	0.00	0.00	0.00	0.00
廃棄物排出量			t	74.50	83.07	68.09	63.00
	一般廃棄物		t	1.79	2.42	0.00	0.00
	産業廃棄物		t	72.71	80.65	68.09	63.00

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、四国電力株式会社の2018年度実績の調整後排出係数0.528（kg-CO_2/kWh）を使用しています。

※ 各項目の値は、事業年度4月1日～翌年3月31日までの値となります。

5-2　環境経営目標及びその実績一覧表

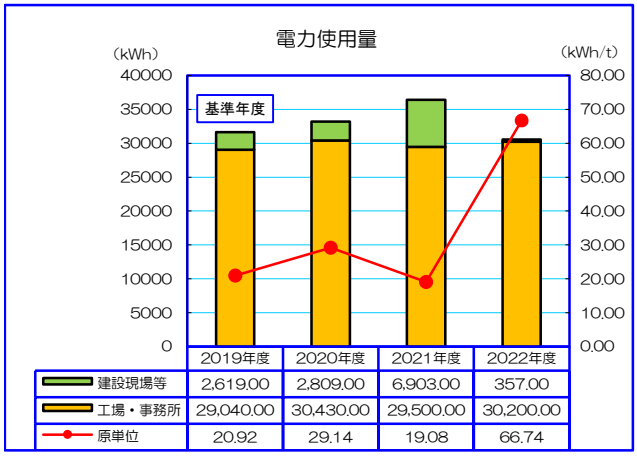
項目		単位	2019年度（基準年度）	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
生産量									
工場製作分		t	1,111.33	866.82	1,106.75	457.82	***	***	***
現場工事分		t	401.69	273.91	801.29	0.00	***	***	***
総生産量		t	1,513.02	1,140.73	1,908.04	457.82	***	***	***
二酸化炭素排出量の削減									
電力使用による排出量	基準年度比	%	100.0	99.5	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
	実績値	kg-CO_2	16,715.95	17,550.19	19,220.79	16,134.10	***	***	***
	目標値	kg-CO_2/t	11.05	10.99	10.94	10.88	10.83	10.77	10.72
	原単位	kg-CO_2/t	11.05	15.39	10.07	35.01	***	***	***
	達成率	%	***	**71.4**	**108.6**	**31.3**	***	***	***
燃料使用による排出量	基準年度比	%	100.0	99.5	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
	実績値	kg-CO_2	16,191.54	12,157.19	17,339.57	9,507.87	***	***	***
	目標値	kg-CO_2/t	10.70	10.65	10.59	10.54	10.49	10.43	10.38
	原単位	kg-CO_2/t	10.70	10.66	9.09	20.63	***	***	***
	達成率	%	***	**99.9**	**116.5**	**51.3**	***	***	***
二酸化炭素排出量の合計	実績値	kg-CO_2	32,907.49	29,707.38	36,560.36	25,641.97	***	***	***
水資源使用量の削減									
上水道の使用量	基準年度比	%	100.0	99.5	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
	実績値	m^3	341.97	292.26	337.08	338.22	***	***	***
	目標値	m^3/t	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.22	0.22
	原単位	m^3/t	0.23	0.26	0.18	0.73	***	***	***
	達成率	%	***	**88.5**	**127.8**	**31.5**	***	***	***
産廃の削減及びリサイクル推進									
廃棄物の排出量	基準年度比	%	100.0	99.5	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
	実績値	t	74.50	83.07	68.09	63.00	***	***	***
	目標値	t/t	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	原単位	t/t	0.05	0.07	0.04	0.14	***	***	***
	達成率	%	***	**71.4**	**125.0**	**35.7**	***	***	***
事務用紙使用量の削減									
コピー用紙の使用量	基準年度比	%	100.0	99.5	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
	実績値	kg	155.09	168.54	198.62	136.10	***	***	***
	目標値	kg/t	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	原単位	kg/t	0.10	0.15	0.10	0.30	***	***	***
	達成率	%	***	**66.7**	**100.0**	**33.3**	***	***	***
化学物質使用量の削減									
SDSの確認	目標値	***	SDSの確認	SDSの確認	SDS確認、溶接棒保管	SDS確認、溶接棒保管	SDS確認、溶接棒保管	SDS確認、溶接棒保管	SDS確認、溶接棒保管
溶接棒の適正保管	実績値	***	SDSの確認	SDSの確認	SDS確認、溶接棒保管	SDS確認、溶接棒保管	***	***	***
環境配慮品の開発、研究、販売提供									
廃材の有効活用	目標値	***	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用
	実績値	***	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	廃材の有効活用	***	***	***
グリーン購入・調達の推進									
グリーン購入の推進	目標値	件数	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
	実績値	件数	23件	28件	45件	22件	***	***	***
清掃活動など社会貢献									
清掃活動の実施	目標値	回数	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上
（アドプト活動他）	実績値	回数	4回	6回	6回	4回	***	***	***

※ 各項目の値は、事業年度4月1日～翌年3月31日までの値となります。

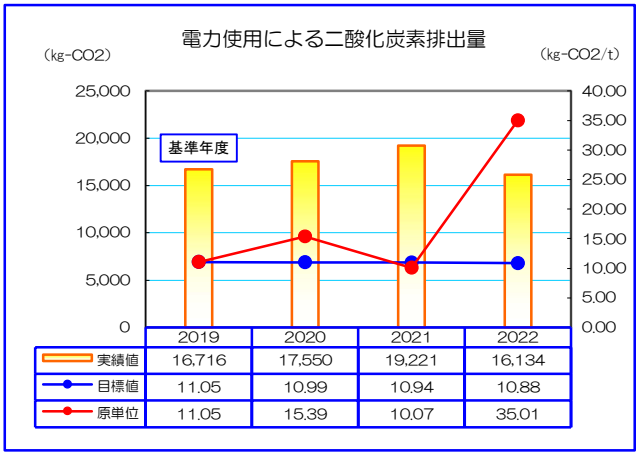
※ 表中の値は、有効数字や四捨五入等のエクセルの処理の都合上、内訳の合計等が一致しない場合があります。

5-3　項目別環境目標及びその実績と評価

(1)　電力使用による二酸化炭素排出量



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
建設現場等	2,619.00	2,809.00	6,903.00	357.00
工場・事務所	29,040.00	30,430.00	29,500.00	30,200.00
原単位	20.92	29.14	19.08	66.74

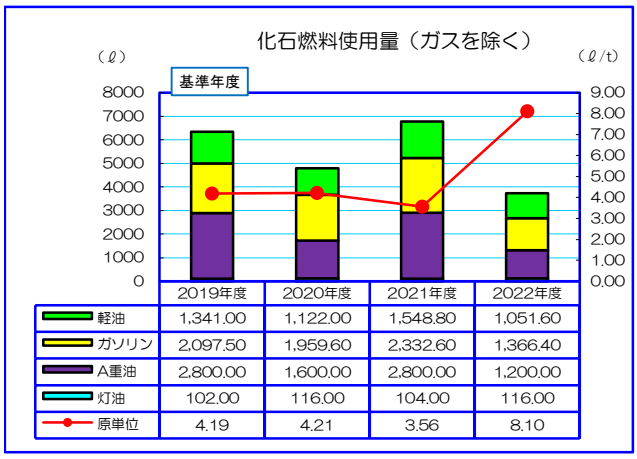


	2019	2020	2021	2022
実績値	16,716	17,550	19,221	16,134
目標値	11.05	10.99	10.94	10.88
原単位	11.05	15.39	10.07	35.01

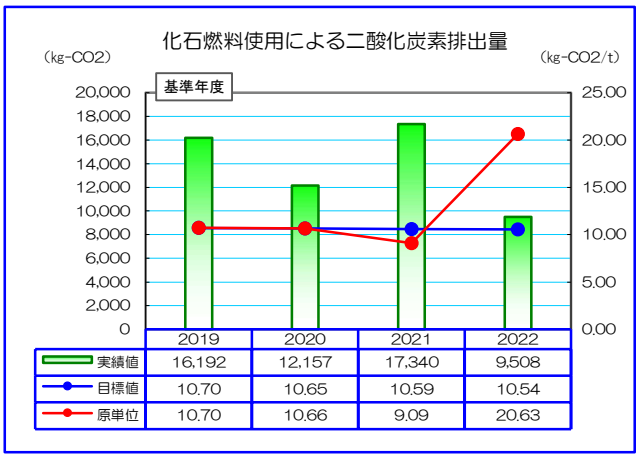
評　価

今年度の電力使用量は、基準年度より約３%削減されているものの、生産量が約７０%減少しており、生産量あたりの評価では、達成率約３１%となり目標を達成することができませんでした。
単純に工事の受注件数が少なかったこともありますが、生産量が少ない、あるいは発生しない業務が多かったこと、また製造設備老朽化とそれに伴う改修工事を実施したことなどが要因だと考えられます。現状ではこれら様々な要因を正しく反映させた評価基準が確立できておらず、厳しい結果となってしまいましたが、次年度も社員一同、より積極的に節電活動に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めてまいります。

⑵　化石燃料使用による二酸化炭素排出量



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
軽油	1,341.00	1,122.00	1,548.80	1,051.60
ガソリン	2,097.50	1,959.60	2,332.60	1,366.40
A重油	2,800.00	1,600.00	2,800.00	1,200.00
灯油	102.00	116.00	104.00	116.00
原単位	4.19	4.21	3.56	8.10

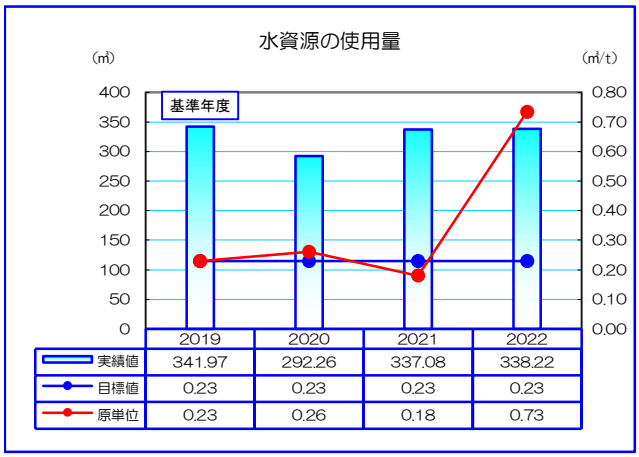


	2019	2020	2021	2022
実績値	16,192	12,157	17,340	9,508
目標値	10.70	10.65	10.59	10.54
原単位	10.70	10.66	9.09	20.63

評　価

今年度の化石燃料使用量は、A重油、ガソリン、軽油などで基準年度より約４０%削減されたものの、それ以上に生産量が落ち込んだため目標達成率が約５１%にとどまり、目標未達成となりました。
電力と同様の要因により、このような極端な結果になりましたが、化石燃料使用量の削減に向けた取り組みとしては、社員ひとり一人が会社で決めたルールのもと、無理なく無駄なく取り組むことができたと思います。工事内容や受注状況による評価のバラつきに関しては、エコアクション２１取組当初からの課題であり、未だ試行錯誤の繰り返しですが、継続して活動の改善に取り組んでまいります。

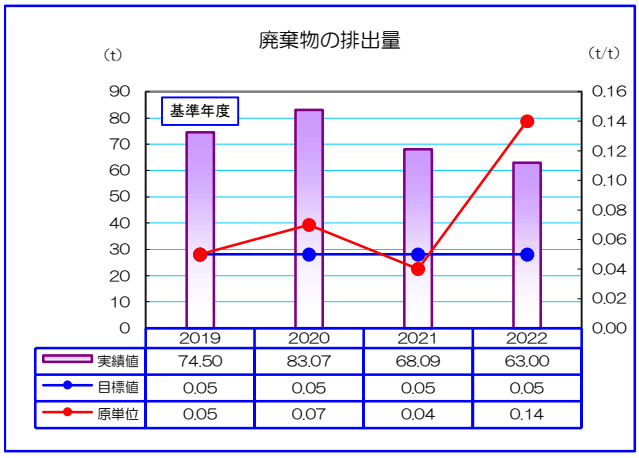
(3)　水資源の使用量



評　価

今年度の水資源の使用量は、基準年度とほぼ変わりませんが、生産量当たりの評価では、達成率が約３１％程度で、目標を達成することができませんでした。生産量の大幅な減少が主たる要因ですが、小型の製品製造はコンクリート打設日が増え、結果、ミキサ洗浄のための水使用量が生産量に反比例して大幅に増えてしまうことも、評価を難しくしています。次年度も地道な活動を積み重ね、節水に励んでまいります。

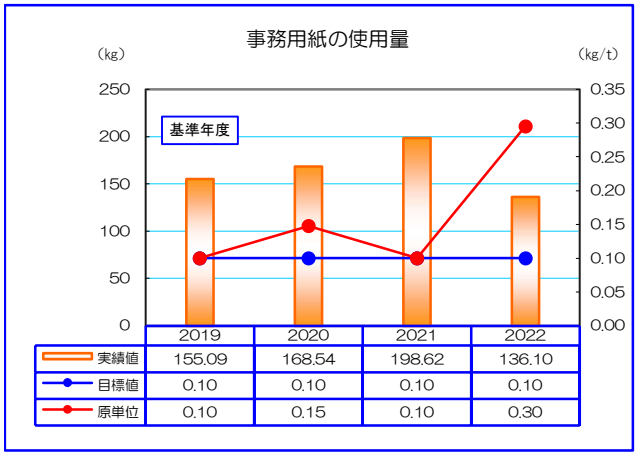
(4)　廃棄物の排出量



評　価

廃棄物の排出量は、基準年度から１５％ほど削減されましたが、やはり生産量の減少から、達成率約３６％で目標を達成できませんでした。元々、産廃の排出は、搬出頻度を減らすため、工場で一定量貯めてから排出するため不定期で、年度を跨ぐこともあり、年度毎の評価は適当性を欠いたものとなっていると思います。
評価は芳しくなかったですが、次年度も３Ｒに努め、廃棄物排出削減に取組んでまいります。

(5)　事務用紙の使用量



評　価

今年度の事務用紙の使用量は基準年度に対して、約１２％削減しましたが、生産量当たりではやはり達成率約３３％で目標未達成の結果となりました。当社では、業務の性質から未だ社員の大半が紙資料に利便性を感じており、ペーパーレス化の推進が難しい状況です。業務効率から、紙資料の必要性は無視できないと考えていますが、次年度も無駄紙の削減を中心に、徐々にペーパーレス化にも取り組んでまいります。

6.　環境経営計画の取組内容と評価

取組内容	達成状況	評価（結果と今後の方向性）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
空調温度の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○	エアコンと扇風機の併用、ネックリング（保冷剤）を使用したクールビズなど、より効果的に節電への取り組みができるように心掛けて活動を行いました。 節電活動に関しては、全従業員が当たり前に実行できるようになっており、問題なく活動を継続できています。 【次年度の取り組み】 次年度も本年度の取り組みを継続して節電活動に努めます。また、今後の省電力化を視野に入れた設備等の改修計画にも着手していきたいと考えています。
休憩時間及び終業時の工場ブレーカーOFF	○	
休憩時間中の事務所照明の消灯	○	
離席時のパソコンスリープモード設定	○	
節電タップによる待機電力カット	○	
クールビズ・ウォームビズの実施	○	
燃料による二酸化炭素排出量の削減		
アイドリングストップ	○	ガソリンの使用量削減を目的に、全従業員に対してエコドライブや車両点検の実施を指導し、各運転者ともに問題なく取り組むことができたと思います。その他の燃料に関しても、業務に支障がない範囲でできる限りの取り組みを行い、燃料使用量の削減に努めました。 【次年度の取り組み】 次年度もエコドライブを励行し、ガソリン使用量の削減と安全運転に努めたいと思います。その他の燃料に関しても削減するための方策を検討できればと思います。
急加速・急停止の防止	○	
エアコンの控え目使用	○	
タイヤ空気圧のチェック	○	
効率的なルート選択	○	
公共交通機関の利用	△	
水資源使用量の削減		
節水を喚起する（啓蒙ポスター）	○	節水活動への取り組みに関しては、目新しい活動はできていませんが、日々の取り組みに関しては問題なく取り組むことができました。材料の湿潤状態を保つため、散水ホースを用いるなどの対策を実行し、効果は小さいですが、できる範囲の節水を心掛けました。 【次年度の取り組み】 節水に関しては、次年度も効果は小さいですが日常の節水活動を継続して積み重ねていきたいと考えています。節水のアイデアについて、情報収集にも努めます。
終業時に蛇口閉栓を確認	○	
散水ノズル（止水）の取り付け	○	
高圧洗浄機の使用	○	
産業廃棄物の削減		
ゴミの分別を徹底	○	ゴミの分別は、問題なく全従業員が取り組むことができました。さらにエコキャップ活動のため、家庭のペットボトルの蓋を集めるなど、活動の範囲が家庭にまで広がりを見せています。また、作業ミスによる廃棄物は、ダブルチェック体制によりほぼ無くすことができました。 【次年度の取り組み】 次年度も廃棄物の排出抑制に努めます。また、排出されてしまった廃棄物に関しても、分別を徹底して行い、再資源化率の向上につなげたい思います。
作業ミスによる産廃量の削減	○	
エコキャップ活動、使用済み切手回収	○	
事務用紙使用量の削減		
コピー用紙の両面印刷（裏紙の使用）	○	書類や図面のチェック時に、モニター上では見落としが多く、効率的にも悪いので紙資料が必須であり、結果、ペーパーレス化を推進することはほとんどできませんでした。しかし、無駄紙の削減や回収紙の再使用などの取り組みは徹底して行うことができました。 【次年度の取り組み】 業務に支障がない範囲でペーパーレス化の推進を継続して行います。また、旧書類の電子化を進めて、排紙の回収に回したいと考えています。
コピー機の使用後にリセットボタン	○	
印刷プレビューで確認してから印刷する	○	

取組計画	達成状況	評価（結果と今後の方向性）
化学物質使用量の削減		
安全データシート（SDS）の確認	○	安全データシート（SDS）については、年２回最新版の確認を行い、ファイルにまとめて保管しています。 溶接棒に関しては、化学物質のマンガンを含有しているため、保管場所を決めて適正に保管しています。また、常に保管状況も確認しており、管理に努めています。 【次年度の取り組み】 次年度も引き続き、安全データシート（SDS）の最新版の入手と確認を行い、溶接棒に関しても在庫調整を含め、適正な保管に努めます。
溶接棒の適正保管	○	
環境配慮品の開発、研究、販売提供		
残コンクリートの有効活用	○	工程上発生する少量の廃棄資材について、安易な廃棄はせず、ひと手間加えて様々な商品を作成しました。現状そのほとんどが会社内での使用に限られていますが、一部の商品については、近隣の学生や従業員の知人などに無料で配布し、喜んでいただきました。 【次年度の取り組み】 次年度も発生した廃棄資材の有効活用に取り組みます。また、社外への無料配布も継続したいと考えていますが、販売提供を視野に入れた検討も進めたいと思います。
廃棄木材の有効活用	○	
廃棄鋼材の有効活用	○	
その他の廃棄資材の有効活用	○	
グリーン購入・調達の推進		
事務用品のグリーン購入	○	事務用品のグリーン購入に関しては、通信販売を利用する際に、対象商品であることを確認して注文しており、問題なく取り組むことができています。しかし、土木資材に関しては、工事で使用できる資材の制約や当社の情報収集不足などのため、ほとんど実績がない状況です。 【次年度の取り組み】 事務用品のグリーン購入については、次年度も継続して取り組んでまいります。土木資材に関しては、引き続き情報収集に努め、購入の検討材料としたいと思います。
清掃活動など社会貢献		
アドプト活動への参加	○	徳島県OURロードアドプト事業や工事現場周辺の清掃活動を実施しました。また、近隣の学校から工場見学の依頼があったので、学生の工場見学会の機会を設けました。その際、学生たちにモルタル製の文字型ブロックを無料で配布しました。 【次年度の取り組み】 次年度も工場や工事現場周辺の清掃活動に取り組み、地域社会への貢献に努めます。また、学生の教育や就職支援の一環として依頼があれば対応したいと考えています。
その他の清掃活動	○	

達成状況：ここでの達成状況は数値の達成ではなく、取り組みの活動ができたかどうかを評価します。

○　：　十分に取り組むことができた

△　：　あまり取り組むことができなかった、取り組みに問題があった

×　：　全く取り組むことができなかった

7.　環境関連法規等の順守状況

法規名（略称）	要求事項 （対応すべき事項）	適用される事項 （施設、物質、事業活動等）	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 （廃棄物処理法）	①　産業廃棄物処理委託契約 ②　マニフェスト ③　産業廃棄物管理票交付等状況報告書	産業廃棄物	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	①　全ての業務用冷凍空調機器の簡易点検	エアコン 冷蔵庫	○
大気汚染防止法	①　ばい煙発生施設の設置の届出	小型ボイラー	○
水質汚濁防止法	①　特定施設等の設置の届出	バッチャープラント	○
騒音規制法	①　作業の届け出 ②　騒音の規制値 ③　特定施設設置の届け出	杭打ち機、びょう打ち機、削岩機、空気圧縮機、等を使用する作業プラント、空気圧縮機	○
振動規制法	①　作業の届け出 ②　騒音の規制値 ③　特定施設設置の届け出	杭打ち機、びょう打ち機、削岩機、空気圧縮機、等を使用する作業空気圧縮機	○
悪臭防止法	①　悪臭発生の抑制 ②　事故発生時の報告	塗装工事、アスファルト防水工、汚泥の乾燥、など悪臭発生の可能性のある作業	該当なし
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	①　特定建設資材 ②　計画の届出、完了報告 ③　リサイクルの推進	新築工事及び解体改修工事	○
特定家庭用機器再商品化法 （家電リサイクル法）	①　特定家庭用機器の処分依頼	特定家庭用機器の排出 テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等	該当なし
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 （小型家電リサイクル法）	①　使用済小型電子機器の処分依頼	使用済小型電子機器の排出 パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、ＣＤプレイヤー、等	該当なし
浄化槽法	①　浄化槽の設置等の届出 ②　浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃の実施 ③　定期検査	浄化槽	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 （グリーン購入法）	①　環境物品等の購入	環境物品等 グリーン購入法適合商品	○
徳島県環境基本条例	①　公害防止、自然環境の適正保全に必要な措置	事業活動全般	○
徳島県生活環境保全条例	①　生活環境への負荷の低減	事業活動全般	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	①　事業活動に係る脱炭素社会の実現	事業活動全般	○
小松島市公害防止条例	①　生活環境の保全	事業活動全般	○
小松島市における廃棄物の処理及び清掃に関する条例	①　廃棄物の適正な処理	廃棄物	○

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
◎　環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境関連法規制等は順守されていました。
◎　関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。
◎　地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。

8.　代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	評価	見直し・指示
環　境　経　営　方　針	特に問題なし ・企業理念及び事業活動との整合性 ・取組の重点分野	・環境経営方針に基づいた環境活動の推進 ・社会情勢の変化に合わせて、取組の重点分野について随時見直し
実　　施　　体　　制	特に問題なし ・活動の対象範囲 ・各担当者の役割、責任、権限	・実施体制の維持 ・全従業員での取り組み
環境経営目標・実績	生産量の大幅な減少により目標未達成 ・基準年度比 生産量　約７０%減少 二酸化炭素排出量　約２２%減少 目標達成率　約３９%で目標未達成	・目標達成に向けた環境活動への取組 ・工事内容や受注状況などを反映した環境経営目標、環境負荷指標、評価基準の検討を継続
環境経営計画の取組内容	特に問題なし ・取組内容 ・取組姿勢 ・状況に合わせた取組内容への柔軟な対応 ・次年度の取り組み	・継続した取り組み ・取組内容の練度向上 ・状況に合わせた柔軟な対応 ・新しい取組内容の検討を継続
環境関連法規の順守	特に問題なし ・関連法規、要求事項 ・順守状況 ・外部からの指摘、苦情、訴訟なし	・継続した取り組み ・関連法規順守の徹底

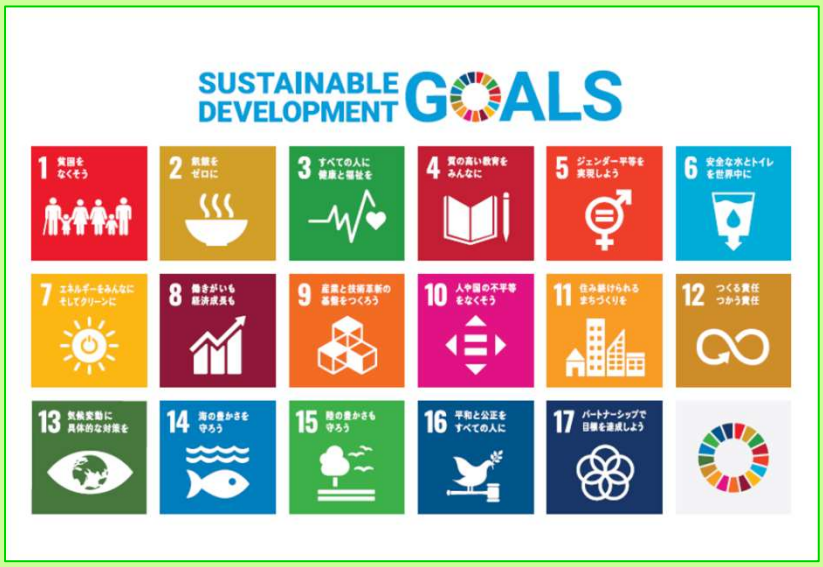
総　括

地球温暖化が問題視され始めてもうすぐ半世紀となる現在、当社のEA21への取り組みも10年以上が経過しました。当社の地球環境への貢献度など取るに足らないほんの僅かなものでしかないかも知れませんが、それでも、社員ひとり一人が環境負荷の低減について考え、当たり前のように環境負荷の低減活動に取り組めるようになったことは十分価値があることだと考えています。

今年度は、工事の受注件数が少なく、また設備の老朽化やそれに伴う改修工事のため、生産量が大幅な減少となり、生産量当たりの評価を基準とする当社の環境経営計画において目標を達成することができず、取り組みの難しさを改めて痛感しましが、全社員が一丸となり、地球環境保全につながる環境負荷低減活動の継続には注力できたと思います。

世界規模で様々な環境負荷低減への取り組みが行われている中、未だに試行錯誤を繰り返している当社ですが、今後も地球上の一企業としての責任を果たすべく、EA21への取り組みを継続してまいります。

9.　環境活動の紹介



ＳＤＧｓとは、持続可能な社会の実現に向け、国連が定めた２０３０年までの国際社会共通の目標です。
ＳＤＧｓは、１７のゴールと１６９のターゲットから構成されています。１７のゴールを目指すにあたり、建設業の果たすべき責任は大きく、また貢献できる役割も多いと考えています。
関西ピー・エス・コンクリート株式会社は、今後の事業活動をＳＤＧｓの取組と照らし合わせ、エコアクション２１の活動と紐づけながら、目標達成のための活動を継続して進めてまいります。

節電活動への取組

① 節電ポスターによる啓発活動
② エアコンの空調温度適正化
③ エアコンと扇風機の併用による空調効率化
④ 休憩時間および終業時の工場ブレーカーOFF
⑤ 休憩時間中の事務所照明の消灯
⑥ 節電タップによる待機電力カット
⑦ 離席時のパソコンのスリープモード設定

①

⑥

④

③

②

燃料使用量削減への取組

① エコドライブの励行
② 車内の温度上昇対策（日陰駐車、日除け）
③ 不要積載物荷下ろしによる車両軽量化
④ 月次の車両点検の実施
⑤ タイヤ空気圧の適正管理
⑥ 車移動時の効率的なルート選択
⑦ 環境配慮型建設機械の使用を推進

③

④

⑦

３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）への取組

- ① ゴミの分別を徹底
- ② 古紙・排紙の回収と裏紙の再利用
- ③ エコキャップ活動への取組
- ④ 使用済み切手の回収と寄付
- ⑤ 廃材などの有効活用 Ex;廃棄木材
- ⑥ 使用期限切れ材料の有効活用 Ex;期限切れセメント

節水活動への取組

- ① 節水ポスターによる啓発活動
- ② 散水ノズル（止水）の取り付け
- ③ 節水コマの取り付け
- ④ 高圧洗浄機の使用
- ⑤ トイレに擬音装置を設置
- ⑥ 散水ホースの使用 Ex;原材料の湿潤状態の維持

環境配慮型商品購入への取組

- ① グリーン購入の推進
- ② 県産木材の間伐材を用いた工事看板の使用
- ③ 環境対策商品の選定、購入 Ex;セメントのアルカリ中和剤
- ④ エコ機能搭載機器への買い替え Ex;複合機
- ⑤ 低公害車への乗り替え
- ⑥ 詰め替え用商品の購入

①

地域貢献活動への取組

- ① OURロードアドプト活動への参加
- ② 工事現場周辺の清掃活動の実施（草刈り）
- ③ 工場・現場見学会、出前講座の開催
- ④ 来客への無料配布 Ex;文字ブロック

②

③

④

健康への取組

- ① 全社員の定期健康診断の受診
- ② ウォーキング活動への参加
- ③ 熱中症対策への取組 Ex;遮熱ヘルメット、空調服を支給
- ④ 安全保護具の支給
- ⑤ 喫煙所の設置（受動喫煙対策）

③

⑤

④

③

①

職場環境改善への取組

- ① ５Ｓ活動への取組
- ② 社員教育の実施
- ③ 各種の資格取得の支援
- ④ 工場設備機器の更新
  Ex;2022年12月 バッチャープラント設備更新

②

③

④

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

関西ピー・エス・コンクリート株式会社

環境管理事務局

TEL.0885-33-2448　FAX.0885-33-1502
E-Mail：kps.pc00@gaea.ocn.ne.jp